

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

企業の実力を問うTPP関連をマークせよ!



いよいよ名実ともに新年度相場がスタート。先週の権利落ち以降はややさえない流れとなったものの、節目意識の高い指数の推移を見る限り、押し目買い意欲はまだまだ根強いのではないか。物色傾向としても好業績銘柄を中心に資金シフトが確認されている。

そこで前回コラムでは「業績回復は来期が本番！業績変化に注目せよ！」として、企業の「来期の業績変化」に着目した「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を配信。提供銘柄のエンシュウ(6218)、ミツバ(7280)、Jトラスト(8508)が実質2営業日で10%上昇率の目標株価を達成するなど、レポート購入者からは市況分析、銘柄アプローチを高く評価していただいた。

さて、前年度上期にはまだ円高推移が続いていたこともあり、今期は多くの企業が収益回復を実現していくことになる。さらに現政権は先月にもTPP交渉参加を表明し、輸出拡大政策を進めるなど、自由貿易拡大の流れは新年度のテーマとしても強く意識されてくるのではないか。ただ、同時に非関税障壁撤廃で国際競争の波にも晒されるだけに、企業の実力が問われることになるだろう。

そこで弊社では「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）」をテーマとした「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を発売することとした。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。